

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県生涯学習センター
施設所在地	岡山市北区伊島町3丁目1番1号

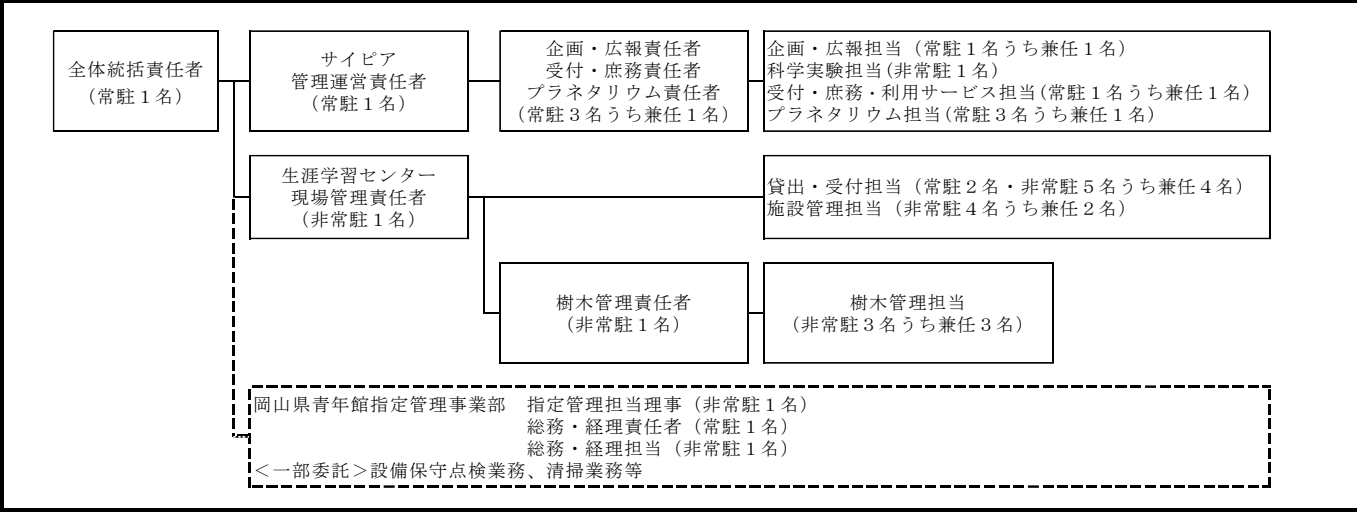
【指定管理者の概要】

名 称	一般財団法人岡山県青年館	代表者	理事長 牧野 康平
所在地	岡山市北区津島東一丁目4番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	・生涯学習センターの施設等の維持管理に関すること。 ・生涯学習センターの施設等の利用の許可に関すること。 ・人と未来の科学館サイピアの運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件・人)

		施設等の利用 (件)	投影の観覧 (人)		
許可 件数	7年度	3,479	27,306		
	6年度	3,310	28,437		
	増 減	169	△1,131		

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・清掃業務 ・昇降機維持管理業務 ・空調設備保守業務 ・樹木管理業務 ・遊具保守点検業務 ・その他施設・設備保守点検業務
施設等利用許可業務 (4月～3月)	・受付、総合案内、監視・巡回業務 ・施設等の利用許可 (3,479件) 〔主な内訳〕 ミーティング室6室計1,427件、研修室5室計850件 ・プラネタリウム投影の観覧 (27,306人)
自主企画事業	・サイエンスショー、科学工作等 10,284人

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	施設等利用料	投影の観覧料		合 計
収 入 額	11,710,320	5,097,950		16,808,270
利用件数	3,479	27,306		30,785
減 免 額	5,726,510	1,868,730		7,595,240
減免理由	県が主催・共催した事業、学校教育活動等			

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		101,768,720	4,777,614	96,991,106	7 年度収入額 ・ 指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 5,662,009円 (財源は全額国庫) ・ その他の主なもの キャリアアップ 助成金 910,200円
内 訳	指定管理料	78,715,009	2,647,955	76,067,054	
	利用料金収入	16,808,270	1,751,750	15,056,520	
	事業収入	5,335,241	144,869	5,190,372	
	その他	910,200	233,040	677,160	
支 出 額 B		100,514,733	3,786,102	96,728,631	【主な増減内容等】 (収入) ・ 利用者数増や稼働率向上に伴う施設利用料の増 1,705,830円 (支出) ・ 管理運営費のうち清掃業者変更に伴う清掃委託費の増 2,817,216円
内 訳	人件費	46,863,949	982,973	45,880,976	
	管理運営費	46,313,217	2,679,074	43,634,143	
	事業費	7,337,567	124,055	7,213,512	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		1,253,987	991,512	262,475	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		73,053,000	0	73,053,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルに基づき、適切な管理・運営が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損・紛失はなく、保守管理等が適切に履行されていた。また、プラネタリウムの定期的な点検を行うとともに、緊急時の対応のため、機材のメーカー等との連携を密にしている。
導入効果	①利用状況	B	施設貸出数及び施設利用者数は、稼働率の向上等により増加した。サイピアについては、プラネタリウム機器更新に伴う閉館期間があったが、隣接する太陽の丘公園のリニューアルオープン以降、利用者数が増加している。 【利用者数】 センター R7:73,407人 ← R6:62,465人 サイピア R7:95,917人 ← R6:82,102人
	②収支状況	B	経費削減に努めたことに加え、施設利用の稼働率向上等により利用料金収入が増加し、収支状況は黒字となった。
	③サービス向上	B	自主企画事業や利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めた。
管理運営業務全般		B	協定書及び事業計画書に基づき、適切な管理業務がなされ、サービス向上の取組も実施されていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。